

“みんなでつくる 活力ある・明るく住みよい豊かなまち” 令和2年度市民提案型事業 大募集 企画課 内線2234

令和2年度から
補助金がさらに
有利になります！

市民提案型事業は、市民協働のまちづくりに向け、市民の皆さんが行う地域の課題解決や地域活性化につながる活動に対し、最大50万円を支援する制度です。市民の皆さんならではのアイデアやノウハウを活かして、地域を元気にするための活動を行ってみませんか。

申請方法…申請書など必要書類を企画課までお持ちください。
*様式等は企画課、市ホームページから入手できます。

受付期間 3月27日(金)まで

補助の対象となる団体

- ▷市内で公益的活動を行う5人以上の市民団体またはグループ（団体等の構成員の過半数が市内に在住、在勤もしくは在学していること／市内に活動拠点を有し、または市内で主要な活動を行っていること）
- ▷定款、規約、会則等の定めにより団体等の活動が行われていること。
- ▷政治的活動、宗教的活動を行う団体ではないこと。

補助の対象となる事業

市民団体等が他の助成金を受けず、地域の活性化や課題解決に向け、不特定多数の市民の利益や社会的利益の向上のために、自主的・自発的に取り組むまちづくり事業

補助金の種類

- ①はじめの一步型 公益的活動をこれから行う団体に対する助成
 - ▷補助金の額 次のいずれか少ない額とし、50万円を上限とします。
 - ・補助対象経費の4/5の額
 - ・事業の支出総額から収入（参加費、協賛金等）を除いた額
 - ②総合戦略型 市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）」の趣旨に沿う公益的活動を行う団体に対する助成
 - ▷補助金の額 次のいずれか少ない額とし、50万円を上限とします。
 - ・補助対象経費の2/3の額
 - ・事業の支出総額から収入（参加費、協賛金等）を除いた額
- *①、②の補助金の交付は1年度あたり1団体につき1事業、①の補助金の交付回数は同一団体につき1回までです。

*市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についての詳細は、市ホームページまたは企画課までお問い合わせください。

補助の対象となる経費

補助対象経費は、事業実施に直接要する以下の経費です（詳細はお問い合わせください）。

費目	内容
報償費	講師謝金（団体等の構成員に対するものを除く）
旅費	事業実施のための旅費・交通費等
需用費	消耗品費（用紙、封筒、文具類等）、印刷製本費（チラシ、ポスター等）等
役務費	通信運搬にかかる経費（郵便料等）、広告料、保険料等
委託料	専門的知識や技術を要する業務を外部に委託した費用
使用料 賃借料	機器類等の賃借料、イベント会場等の使用料等
その他	事業実施のために市長が必要と認めた経費

事前相談お受けします

「事業の内容を詳しく知りたい」、「こんなことをやりたいけど対象になるのか」、「申請書の書き方が良くわからない」など、事業を申請する上でお困りごとがありましたら、皆さんの希望に応じて日時を調整し、相談に応じます。どんなことでもお気軽にお問い合わせください。

事前相談受付期間…3月19日(木)まで（要予約）

*メールでの相談も可能です。

電子メール：kikaku@city.goshogawara.lg.jp

令和元年度学生提案型事業成果報告会が開催されました 企画課 内線2234

1月18日、市役所本庁舎土間ホールで、今年度の学生提案型事業成果報告会が開催され、事業を実施した団体が、審査会（金目哲郎会長・弘前大学人文社会科学部准教授）をはじめ、会場に集まった方々に対して、1年間の活動の成果を報告しました。今年度は、5団体が事業に取り組みました。

各団体が発表を終えた後、金目会長が「初めての試みだったが、各団体が実際に地域に入ってイベントを開催したり、住民の方々と交流したりという貴重な経験をしており、人と人との繋がりを感じた。今回の活

動に留まらず、これからも五所川原市に足を運んでいただきたい」と総括しました。



認定証を授与された学生の皆さん

今年度実施された学生提案型事業

①総合戦略 政策分野1 若者の定住促進施策

空き家バンク制度への意識調査とその評価 ＜弘前大学 財政学ゼミナール＞

空き家バンク制度の利用促進のため、空き家バンク制度の普及状況を中心にアンケート調査を行い、調査結果をもとに改善策を市に提言しました。



五所川原の若者と移住者の本音を 詰め込んだ冊子の制作 ＜青森公立大学 飯田ゼミナール＞

定住意識の向上を図るため、高校生と移住者に対して移住・定住に関するアンケートやインタビューを行い、若者が定住するために必要なこと等を冊子にまとめました。



②総合戦略 政策分野2 交流増進施策

学生将棋大会「弘大カップ」 ＜弘前大学 将棋部＞

五所川原地域の将棋人口増加や、他地域の将棋愛好家との交流のため、小中高生以下を対象にした将棋大会を開催。将棋を通して市内外の子どもの交流が図られました。



五所川原にご招待！～なのごすぎだはんで～ ＜弘前大学 小谷田ゼミナール＞

あおり出会いサポートセンターによる「おすすめご縁スポット」にカップル、夫婦がより訪れるようにするため、五所川原のおすすめご縁スポットを組み込んだデートプランを作成し、写真や動画、解説を付け、InstagramやTwitterなどのSNSで発信。市内各スポットの周知を図りました。



市浦地区の交流人口増加に向けた調査研究 ＜尚絅学院大学（宮城県）張ゼミナール＞

市浦地域の交流人口を拡大させるため、文献、統計データ、ヒアリング調査等を実施して市浦地域の魅力を「県外の若者目線」から整理し、報告書にまとめました。

